【事務事業事後評価表の見方】

計

事務事業事後評価表

<u>《基</u> 》	本情報	₹≫															
事	黎 重業	の夕称	護馬が会したス富敬宣巻の名称です							担当課 [2]			実施している部署と評				
事務事業の名称 [1]			評価対象となる事務事業の名称です。						評価者(担当者)				価者です。				
			基本目標(章) 事務事業が市の総合計画の						の施策体	 :系のどこに	.位置付(ナられ	τ		重点 施策 [4]		
総合計画での位置付け [3]			主要施策(節) いるかを表しています。												──────────────────────────────────────		
			施策区分が重点施策の場合は右の【4】欄にチェッ										9 0				
3	実施の	根拠	□ 市長公約 年度予定 : 金額 実施の根拠となる法令や計画等です。											,	千円】		
(複数回答可)			[,		』 該当	<i>+></i> 1		
		[5]	г	□ との他の計画と □ 歳当など □ 歳当など □ 歳当など □ 歳当など □ 歳当など □ 歳当など													
	事業区	【分 【6】	事務事業が該当する性質にチェックが入ります。														
会計区分 [7]			事務事業の会計区分です。企業会計【 】									7	項	目	細目		
			4-03			70 ==>	. Диг				1 49	`	- 74	П	THE PA		
《事	務事業	きの目的!	<u>></u>														
		実施背景	事務	事業の写	ま施が必要	要となった	社会的背景		引題								
(どのような問題又は ニーズがあるのか) [8]			事務事業の実施が必要となった社会的背景、現状の問題 点、ニーズなどを記載しています。														
		[8]							!								
対象(誰、何に対して)_							を及ぼそうと vます。	こしている人	へや								
[9] 団体、物などの対象を記載しています。																	
		うな状態に			実施することで、上記の対象をどのようにした												
l	したいの)か) 【10】	いの	のか、最終的に目指す状態・成果を記載しています。													
	7/r == 4																
《 <i>争》</i>	<i>饬争录</i>	での概要が	!		W-L 7 #0 F	18 4 7th	44-74-50-4 I	***	L - 40	. n	四阳宁	/ 1年米	在 庄				
事業期間 			事務事業を実施する期間です。建物建設など事業の実施期 □ 期間限定間が限定されているものは期間限定複数年度に該当します。							度必		年度	まで】				
			事務事	事務事業を実施している主体にチェックが入ります。 別									1 120.12				
実施方法 [13]			車務国	単の宝	施方法で	す。「その	他には指す	2管理者制	度などが	が該当しまで	f. [] そ(の他【]		
事務事業の具体的内容			1	事務事業の実施方法です。「その他」には指定管理者制度などが該当します。									成する	細事業	€ [15]		
			ļ									事務事業を構成する細事業です。重					
			事務事	事務事業の具体的な内容や手法を記載しています。							. /	要性が高い順に記載しており、6つ以 上ある場合は上位5つを記載してい					
				3													
				御事								とは予算事業を構成する最小事業や業務のことで、細事業					
				(5)								_		-	にまとめた		
《事務事業実施に係るコスト》																	
										年度決算 H26年			度予算 全体計画				
投入コスト	事	国庫支出金	金	%	車業費	ト正職昌の	人件費の合計額を			宝施に悪し	た費用(:	 					
	業	県支出金		%	事業費と正職員の人件費の合計額を事務事 % 入コスト)として記載しています。				· 72	~,iii.~ & O	/ //// (_					
		起債	起債														
	千	受益者負担			国庫支出金・県支出金は国や県からの補助金で、起債は事業を行う												
	円	その他	その他			際の借入金のことです。											
)	一般財源			過去3年度の決算額と当年度の予算額を記載しており、[11]の事業												
		[16] 小	計		期間で「期間限定複数年度」に該当するものは、「全体計画」欄に事業 期間の全体事業費額を記載しています。					業	0		0				
		[再掲]臨時·非常		費(千円)	E	工件字示】	マロスで ロビルバ		o 		-1				<u> </u>		
	職人員件	職員人工領職員の年間平		百/土四)	正職員の	ひ人工(に	 んく) 数を‡		の人件	巻を質出し	ています	-	5.610				
	∧ 典	^{職員の年间・} 【17】 小			正職員の人工(にんく)数をもとに正職員の人件費を算出し 人工数とは事務事業の実施に要した労働量のことで、1人だ 窓」た労働号を「1,001に設定しています					が1年間	bĭ	5,610 0		_			
	~ J-C			計		務した労働量を「1.00」に設定しています。											

≪事務事業の手段と活動指標≫[18] 事務事業を構成する細事業 手段(細事業の具体的内容) 活動指標 単位 H23実績 H24実績 H25実績 H26計画 1 2 予算や人員などの行政資源を投入して、どれだけの活動を 行ったのか、どれだけの行政サービスを提供したのかを細事 業ごとに指標を設定して記載しています。過去3年度の実績値 3 と当年度の計画値を記載しています。 4 **(5**) **≪事務事業の成果≫**[19] H23目標 H24目標 H25目標 単位 成果指標(意図の数値化) 計算方法又は説明 H23実績 H24実績 H25実績 事務事業を実施した結果、対象がどのような影響や成果をど れだけ受けたかを指標を設定して記載しています。過去3年度 の目標値と実績値、当年度の目標値を記載しています。 2 《事務事業の評価》 評価項目 評価の視点 評価 評価の説明 問題あり 市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等 市が関与して実施すべきか、社会的背景 実施主体の妥当性 【20】 の変化により役割が薄れていないか、など 妥 他の団体では実施できない事業か。 問題なし 当 事務事業の妥当性についての評価を行っ 問題あり 税金を使って達成する目的か。また、役割が ています。 性 目的の妥当性 薄れていないか。 問題なし 各評価欄において、「問題あり」や「余地あ 影響あり 事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる (判定) り」などの場合は、理由や改善策を記載し 廃止・休止の影響 等の影響があるか。 影響なし ています。 達成 目標の達成度 成果指標の目標値は達成できたか。 有 | 未達成 目標は達成できたか、手段を見直すことな 効 | 余地あり どによってさらに成果を向上させる余地は 性 成果がもつと上がる余地はないか。 成果向上の余地 ないか、など事務事業の有効性について] 余地なし の評価を行っています。 □ 十分 〈判定〉 上位施策への貢献度 【25】 上位施策の目的達成に貢献しているか。 □ 不十分] 余地あり コストの低減について、これ以上検討の余地 コスト低減の余地 はないか。 余地なし 成果を下げずにコスト削減ができないか、 劾 □ 余地あり 民間委託など民間活力の活用について、これ 民間委託等により民間のノウハウを活用 婡 民間の活用の余地 できないか、改善できる手続きはないか、 以上検討の余地はないか。 金地なし 性 など事務事業の効率性についての評価を 』余地あり 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプ 執行方法改善の余地 行っています。 ロセスはないか。 余地なし | 余地あり 類似する他の事務事業との統合について、こ 〈判定〉 事業統合の余地 [29] れ以上検討の余地はないか。 _ 余地なし 受益者負担を求めることはできないか、負 余地あり 受益者負担について、これ以上検討の余地は 受益者負担の余地 【30 公平性 担の水準は妥当か、など事務事業の公平 ないか。また、対象、負担額等は適切か。 □余地なし 性についての評価を行っています。 《今後の方向性と改善》 □ 休止・廃止を検討 □ 縮小を検討 ■拡充して継続 □現状のまま継続 今後の方向性 □ 細事業の効率化【 □ 改善・見直し □ 民間活用 □ 他事業と統合 □ 廃止 】 [31] 上記の活動実績、成果の達成度、各項目の評価等を踏まえて、所管課とし 判断理由及び見直し・改 て事務事業の今後の方向性を選択し、判断理由や事務事業の見直し、改善 善の具体的内容 の具体的内容を記載しています。 昨年度の評価結果を踏まえ、どのような見直しや改善が行われたかを記載 昨年からの見直し・改善状況 しています。

■評価責任者記入欄■

[32]

評価責任者(課長)の所見 【33】 事務事業に対する評価責任者(課長等)の所見を記載しています。

評価責任者